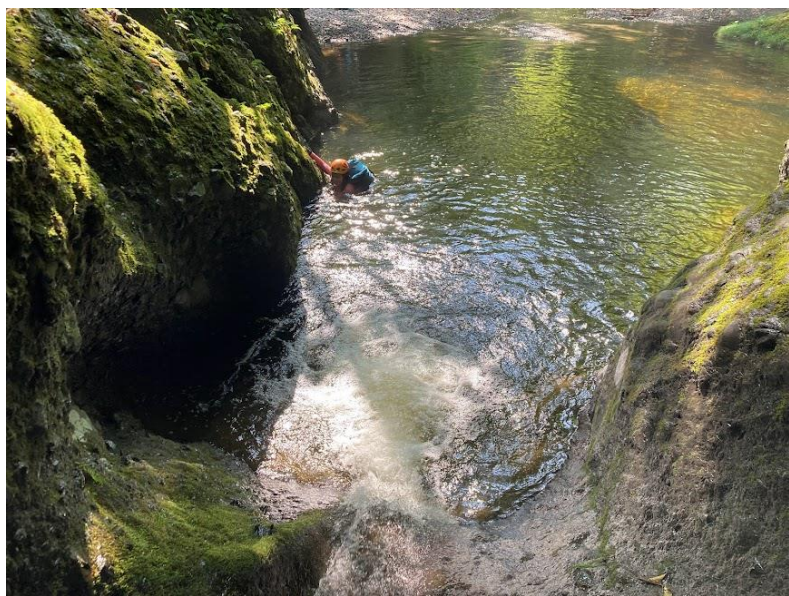


奥久慈・竜神川沢登り

T野

2023年8月5日

メンバー： T野・T中m・T山



異常に暑い今年の夏、日帰りで楽しく泳げて、まだ行ったことがない場所・・・ということで、以前から気になっていた、奥久慈の竜神川に朝発日帰りで行ってきました。

早朝発なので、mさんにはTさん宅に前日泊まってもらい、朝5:00本八幡集合で、常磐道を快調に飛ばして7:30には入山口の武生神社に到着。標高約425m、平地と比べれば多少標高は高いものの、モアーっとした空気に包まれて今日も暑い日になりそうだ。この暑さで、ネオプレnbastは不要と思い車にデポ、ライフジャケットはお守りのために念のために持参することにして、7:45に出発。竜神川の亀ヶ淵を目指して約240m登山道を下降して、8:19大きな淵に小滝が懸った亀ヶ淵へ。すでに汗だくなので、最初から入水モードは大歓迎だ。さぁー水に浸かろう！！

亀ヶ淵は左岸沿いを一瞬の泳ぎで突破！！気温も水温も高く、濡れることに全く抵抗がなく気持ちいい！！その後も礫岩と苔が織りなす面白い地形のゴルジュが続き、次々に突破出来て非常に楽しい。「いやいや、よい沢ではないか！！」とメンバー全員ご機嫌で遡行。

■写真上 亀ヶ淵が満々と水をためて入水を待っている！！

■写真中 入水！！冷たくないで汗ばんだ身体が気持ちいい！！

■写真下 珍しい地形のゴルジュ、楽しい！！



ところが、ゴルジュがひと段落すると、どこから現れたのか、アブの大軍が一人当たり50~100匹レベルでまとわりつく。顔周りは葉っぱ付の小枝を振りながら歩き、何とか無傷だが腕はファイントラックの網シャツ1枚なので噛まれ放題!!「チクチク」と不愉快なことこの上ない。苛ついて叩き潰すこと、これも100匹以上!!これだけ仲間が犠牲になってもお構いなしでまとわりついてくるアブは、まさしく特攻隊のようであった。お互いにメリットが何もない実に無意味な争いである。そのくせ、オニヤンマが飛んできるとやつらは影をひそめるのだから、いったいオニヤンマは何匹のアブを捕食しているのか・・・? 溪でオニヤンマを見ると思わずエールを送りたくなる、頑張れオニヤンマ!!

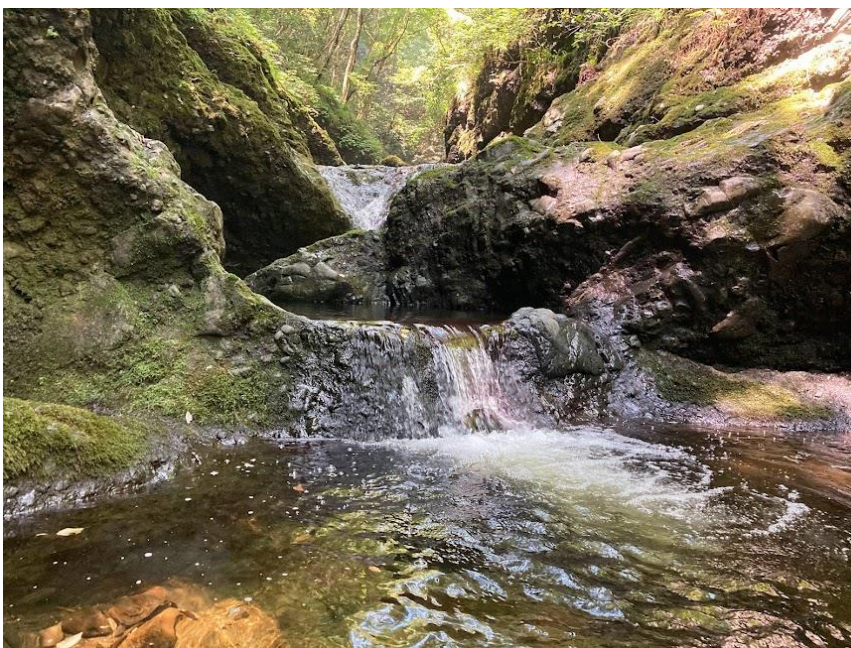
■写真上 楽しく突破できる前半のゴルジュ!!

■写真中 この辺りからアブの大軍に悩まされる。

■写真下 水の途中でアブは追って来ない!!

それにしても、茨城の山でこれだけのアブの大軍に出会うとは思わなかった。なぜか、根拠もなくアブの大軍は日本海側の低山に住むものだという先入観があり、太平洋側ではそこまではいないものだと思っていたのだ。しかし、よくよく調べてみると、8月の竜神川の遡行記録が見当たらない。7月や9月はあるのだが・・・。ウーンそういうことか、事前の読みが甘かったということか。

それでも、ところどころア



ブがいなくなる場所もあり、そういう場所で一息入れることができたのは助かった。でも、なぜそこにアブがいなかったのかは謎である。もしかして、オニヤンマのテリトリーとかがあるのかも・・・。

竜神川は前半と後半に水と親しめる淵や小滝が多く、数回のお助けで対応でき、ロープは使用しなかった。また、景観も良く、イワナではないけどお魚もたくさん泳いでいて、初級者にお水系の沢を楽しんでもらうにはお薦めの渓である・・・

ただし、アブがいなければ・・・の条件付きであるが・・・。今回のような感じでアブがいたら、沢登りお試しの人などを連れてきたら人によってはパニックを起こすかもしれないし、そこまでいなくても、その人の趣味から「沢登り」という文字は消えてなくなるであろう。しかし、7月と9月の天気の良い時ならきっと歓声をあげながら楽しく遡行できると思うので来訪するときはぜひその時期に・・・。

■写真上 全体的には楽しいゴルジュ歩きだ！！

■写真中 狭いが水深は意外にある。

■写真下 後半に現れる淵、難しくはない。

今回、メンバーの中で一番ひどくやられたのがTさん、腕だけではなく、ザックで防御していない上半身を中心に集中攻撃を浴びたようで、噛まれた場所が熱をもって大変だったようだ。



そしてその次にひどかったのが僕、前半、ライフジャケットを着用していたので、胴体は防御されていて、腕中心の攻撃だったが、それでも50カ所以上噛まれ、当日の夜は猛烈に痒くて眠れなかった。なぜかほとんど無傷だったのがmさん。理由はわからない。でもアブに嫌われるのは大歓迎である。うらやましい体質だ。

また、我々は中流部から中武生に脱渓したが、さらに上武生まで遡行することもできるようだ。ただ、その場合、帰りの距離も増えるので、自転車を用意したり、車2台で行き、脱渓地点にデポした方が良いでしょう。我々が歩いたルートなら、脱渓地点から車道まで踏み跡を約1時間15分、さらに車道を約40分で武生神社の車デポ地に戻れた。



■写真上 アブがいなければ最高ののだが・・・

■写真下 こんな巨岩もたくさんある。

ということで、アブにはかなり集られたが、何とか予定通り行動して初見の渓を楽しみ、帰路では市川で花火大会まで鑑賞して充実した1日を過ごすことができた。いつものことながら一緒にいただき、共にアブと戦ったmさんとTさん、有難うございました。

■コースタイム

武生神社 (7:45) ~ (8:19) 亀ヶ淵 (8:30) ~ (12:05) 本流脱渓 (12:20) ~ (13:35) 車道 ~ (14:15) 武生神社